



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 浅沼組 上場取引所 東
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長 (氏名) 八木 良道 (TEL) 06(6768)5222
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	60,421	17.9	844	—	625	—	820	—
25年3月期第2四半期	51,242	△9.7	△2,513	—	△2,744	—	△3,093	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 919百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △3,195百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10 79	—
25年3月期第2四半期	△40 65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	100,258	9,592	9.5
25年3月期	107,110	8,672	8.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,507百万円 25年3月期 8,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0 00	0 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	7.3	1,350	—	800	—	1,430	—	18 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	77,386,293株	25年3月期	77,386,293株
26年3月期2Q	1,283,408株	25年3月期	1,279,903株
26年3月期2Q	76,105,302株	25年3月期2Q	76,107,930株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7
4. 補足情報	P. 8
四半期個別受注の概況	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安・株高傾向による輸出関連企業や大企業を中心とした企業業績の回復や、個人消費の復調など、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、公共投資については引き続き堅調に推移いたしました。また、民間投資についても、住宅取得促進政策による住宅建設の増加や企業業績の回復による設備投資の持ち直し等により回復傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は755億2千6百万円で前年同期比9.9%の増加、売上高は604億2千1百万円で前年同期比17.9%の増加となりました。また利益面につきましては、平成25年11月5日付業績予想の修正のとおり、平成25年5月13日に公表した予想を上回る結果となり、売上総利益は32億5千8百万円(前年同期利益2億8千万円)となりました。

営業利益につきましては8億4千4百万円(前年同期損失25億1千3百万円)となりました。

経常利益につきましては6億2千5百万円(前年同期損失27億4千4百万円)となりました。

四半期純利益につきましては8億2千万円(前年同期損失30億9千3百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は670億2千1百万円(前年同期比9.1%増)、売上高は519億7千9百万円(前年同期比19.8%増)となり、セグメント利益は23億1千万円(前年同期損失1億5千2百万円)となりました。

(土 木)

受注高は85億5百万円(前年同期比15.9%増)、売上高は77億5千6百万円(前年同期比12.4%増)となり、セグメント利益は7億9千7百万円(前年同期利益1億5千8百万円)となりました。

また、「その他」の事業については、売上高6億8千6百万円(前年同期比28.2%減)、セグメント利益8千9百万円(前年同期比31.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、817億4千1百万円となりました。これは、工事代金の回収が進んだことで、受取手形・完成工事未収入金等が31億8百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、185億1千7百万円となりました。これは、土地の売却等による減少2億1千5百万円があったことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、1,002億5千8百万円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、761億9千6百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が60億8千5百万円減少した一方、短期借入金が29億1千6百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて26.0%減少し、144億6千9百万円となりました。これ

は、長期借入金から短期借入金への振り替え48億6千3百万円などがあったことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.9%減少し、906億6千5百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10.6%増加し、95億9千2百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が8億2千万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の建設市場の見通しといたしましては、公共建設投資は引き続き増加傾向で推移すると思われま
す。民間建設投資についても、住宅建設投資は堅調に推移、また企業業績の改善を受けた設備投資の持
ち直し等により回復基調が続くと見込まれます。しかし、年度末の工事進捗最盛期に向けて、経営環境
に大きく影響を及ぼす労務費高騰等の懸念要素に引き続き注視する必要があります。

このような状況の中、当社は今年度の業績回復を最重要課題として、全役職員一丸となって取り組ん
でおり、平成26年3月期の通期業績予想につきましては、足下の受注・施工環境や当第2四半期決算の
結果並びに平成25年10月25日に公表いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知ら
せ」を踏まえ当期純利益について上方修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	28,905	27,317
受取手形・完成工事未収入金等	47,702	44,593
未成工事支出金	6,850	7,919
その他のたな卸資産	667	651
その他	4,735	1,617
貸倒引当金	△336	△359
流動資産合計	88,525	81,741
固定資産		
有形固定資産	9,577	9,556
無形固定資産	443	426
投資その他の資産		
その他	9,745	9,754
貸倒引当金	△1,181	△1,220
投資その他の資産合計	8,563	8,534
固定資産合計	18,584	18,517
資産合計	107,110	100,258
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	28,595	22,510
短期借入金	22,396	25,312
未払金	8,579	10,985
未成工事受入金	10,908	9,689
完成工事補償引当金	826	921
工事損失引当金	1,622	1,335
その他	5,952	5,441
流動負債合計	78,881	76,196
固定負債		
長期借入金	12,949	8,085
退職給付引当金	3,703	3,542
その他	2,902	2,841
固定負債合計	19,555	14,469
負債合計	98,437	90,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,419	8,419
資本剰余金	970	970
利益剰余金	△2,080	△1,259
自己株式	△135	△135
株主資本合計	7,173	7,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,429	1,513
その他の包括利益累計額合計	1,429	1,513
少数株主持分	70	84
純資産合計	8,672	9,592
負債純資産合計	107,110	100,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
完成工事高	50,287	59,735
その他の事業売上高	955	686
売上高合計	51,242	60,421
売上原価		
完成工事原価	50,265	56,610
その他の事業売上原価	695	553
売上原価合計	50,961	57,163
売上総利益		
完成工事総利益	21	3,125
その他の事業総利益	259	133
売上総利益	280	3,258
販売費及び一般管理費	2,794	2,414
営業利益又は営業損失(△)	△2,513	844
営業外収益		
受取利息	91	101
受取配当金	61	53
持分法による投資利益	3	7
その他	13	28
営業外収益合計	170	190
営業外費用		
支払利息	330	335
その他	70	74
営業外費用合計	401	409
経常利益又は経常損失(△)	△2,744	625
特別利益		
固定資産売却益	32	298
その他	12	26
特別利益合計	44	324
特別損失		
投資有価証券評価損	204	—
減損損失	5	22
その他	94	10
特別損失合計	305	33
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,005	916
法人税、住民税及び事業税	78	84
法人税等調整額	△5	△2
法人税等合計	73	81
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,078	835
少数株主利益	15	14
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,093	820

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,078	835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	84
その他の包括利益合計	△117	84
四半期包括利益	△3,195	919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,211	905
少数株主に係る四半期包括利益	15	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社は、平成25年10月25日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産を譲渡することを決議いたしました。

1. 譲渡の理由

当社は、保有資産の有効活用や流動化による資本効率の向上を推進しておりますが、より一層の財務体質の改善を図るため、下記固定資産を譲渡することといたしました。なお、当該固定資産は、貸借により東京本店ビルとして継続使用しております。

2. 譲渡の内容

譲渡資産の種類	土地、建物
譲渡前の用途	東京本店・共同住宅
所在地	東京都新宿区荒木町5番7他
契約締結日	平成25年10月31日
引渡日	平成25年10月31日
譲渡価額	3,155百万円

3. 譲渡先の概要

名称	三井住友ファイナンス&リース株式会社
所在地	東京都港区西新橋三丁目9番4号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 川村嘉則

4. 連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡により固定資産売却益 約4億3千万円を、平成26年3月期第3四半期において特別利益に計上する見込みであります。

4. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
26年3月期第2四半期累計期間	75,352百万円	9.8%
25年3月期第2四半期累計期間	68,650	13.5

(注) %表示は、前年同四半期比増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区 分			平成25年3月期 第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		平成26年3月期 第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		比較増減	
			金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
建設 事業	建 築	官 庁	9,892	14.4	17,004	22.5	7,112	71.9
		民 間	51,422	74.9	49,842	66.2	△1,579	△3.1
		計	61,315	89.3	66,847	88.7	5,532	9.0
	土 木	官 庁	4,328	6.3	5,927	7.9	1,598	36.9
		民 間	3,006	4.4	2,577	3.4	△428	△14.3
		計	7,335	10.7	8,505	11.3	1,169	15.9
	合 計	官 庁	14,220	20.7	22,932	30.4	8,711	61.3
		民 間	54,429	79.3	52,420	69.6	△2,008	△3.7
		計	68,650	100	75,352	100	6,702	9.8

② 個別受注予想

	受注高	
26年3月期予想	120,000百万円	3.8%
25年3月期実績	115,563	9.2

(注) %表示は、前年同期比増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報]

第2四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比9.8%増の753億5千2百万円となりました。部門別では、建築・土木ともに、民間が減少したものの、官庁が増加となりました。